

第81号

し ら さ ぎ

学園この一年の回想

丹後大宮福祉会 理事長 吉岡 一男

平成二十三年も早や半年余りを過ぎ暑い時候となりました。本年は新春より近年にない大雪となり、加えて三月十一日には「東日本大震災」が起き、津波と共に大災害となりました。津波によって福島第一原子力発電所が破壊され、今日迄に体験したことのない大災厄を受けることとなっています。三陸地方の方々には多くの死者が出て、多数の被害者が今も尚、避難を余儀なくされて居られます。被害を蒙られた地域の皆様には、改めてお悔やみとお見舞いを申し上げます。第2次です。

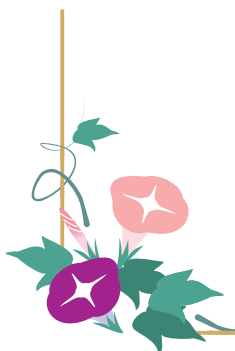
異常気象を始め、何かと異変を感じる今日此の頃ですが、学園も春の大雪には、ブナの木寮の一部に被害が出ました。除雪に対しては例年に無いくらいに費用も多く掛かりましたが、府を始め、地元行政のご配慮に依り一部補助金も頂き、修理することが出来ました。昨年四月より学園も施設長を先頭に、各部署の職員の方々のご努

力により、園内の空気が一新して、職員の方々が毎日を「明るく和やかな職場」をモットーとして、風通しの良い学園となりました。和やかで明るい職場となると、気持ちが変われば何ごとも此の様に変わるかと思う位すべてが良くなったように感じます。長年念願でありました防災設備のスプリネックス設置も、府のご配慮に依り、三月中旬、補助工事を決定して頂き、業者の選定と入札を行い、六月下旬には完成の運びとなりました。古いマイクロバスも助成申し込みをして居りました処、早速お願いも通りました。

学園に必要な施設設備もトントン拍子に決定されて、新装備や更なる新装備が成っております。関係頂いた皆様にはこの場を借りて心より感謝致すところです。今の時勢では、耐震に対応する設備も大事になってきていると思います。これはかなりの費用が掛かることでしようが、出来るだけ早期に実現

出来ますように関係官庁や関係者の皆様方をお願いをしたいと思います。居ります。

学園も本年十月より「自立支援法」への移行に向けて準備に遺漏なきことを期しておるところです。その為、施設長を始め職員の皆さんが移行準備のため、研修会等従来と違った学園の運営のあり方に対し、日夜努力して頂いて居ります。利用者の皆さんに思いを致せば殊の外嬉しく感謝致して居るところです。何と言っても、利用者の皆さんの毎日が楽しく安全且つ安心であることが一番であると思えます。このような安全・安心・安楽の保障という福祉の心への共鳴を広めてもらって、今後共学園に対し保護者会を始め関係者の皆様には一層のご支援ご協力を切にお願い致します。この一年を振り返り、学園内が明るく和やかな空気となって居りますことをご報告させて頂きました。



平成二十三年度 交流会

交流会担当 支援員

五月八日(日)晴天・薫風。四十七名の保護者の方の参加を得、交流会を実施しました。

今年は何年のバーベキュー形式の昼食を大変更して、学園オリジナルのお手製弁当とし、爽やかな風の中利用者さん・保護者の方と共にテーブルを囲み、談笑しながら季節の味に舌鼓を打ちました。

お弁当にしたことにより、厨房の職員さんにはかなりの手間や時間をかけて頂くことになりました。大変だったと思いますが、保護者の方や利用者さん、又職員の中では大変好評で、交流会と銘打っている通り、利用者・保護者・職員の三者が、終始笑顔で談笑しながら、楽しい時間を過ごさせて頂きました。

食後の交流ゲームの風船割り競争では、頬一杯空気を吸い込んで真っ赤な顔をしながら風船を膨らませ、それをお尻で割ります。一回で割れる人、数回かかる人と悪戦苦闘の様子が非常に微笑ましく、例年になく楽しい日になったように思われま



▲交流会風船割り競争

今後も皆さんの笑顔が沢山見られるよう全職員、励んで行きたいと思っています。



るのみでした。

例年、バス遠足や、作業班単位のリフレッシュ外出として行われていた園外活動を今年度から利用者さんのニーズに細かく応える選択バス旅行と言う形で行う事になりました。

バス旅行

作業支援員 中西政博

去る五月二十六日、今年から小グループ単位で実施されることとなった第一回目のバス旅行に行ってきた。利用者さんと職員合わせて総勢二十六人のグループで今年納車されたばかりのマイクロバスを職員が運転し、初めて遠方までのお出掛け。初回のバス旅行ということもあり、やや緊張気味に、いざ「キリンピアパーク」「枚方パーク」に向けレッツゴー！安全運転を心がけながらも高速道路では風にあおられ、運転手さんの表情が硬いです。途中、サービスイリアでは利用者さんは決まって自動販売機を囲み、我先にとジュースを購入し一気に飲み干しました。

最初の目的地であるキリンピアパークではビールが作られる工程の説明を受けた後、利用者の殆んどの方がビールを美味しそうに試飲されているのを職員はただ指をくわえ見守



▲枚方パークにて

次の目的地は今回のバス旅行のメインである「枚方パーク」です。車内ではやれ「絶叫マシンに乗りたくない」「いや、絶対に乗りたくない」だの「美味しい物が食べたい」「枚パーク兄さんに会えるのか？」等々、会話が飛び交います。現地では昼食を済ませた後、各々の目的に向かって繰り出します。ゆっくり土産物屋を廻られた方、二度、三度と絶叫マシンに乗られた方、いずれも何時になく表情が緩み、充分に楽しんでおられた様です。何とか無事に終えた今回の小グループでのバス旅行でしたが、利用者さんの希望に出来るだけ応え実施するという初の試みということもあり、計画段階から「本当に無事に遂行できるのだろうか？」と不安はあり、幾度も念には念を入れ進めてきました。結果的には今回参加された利用者さんの殆どの方が満足しておられ、我々職員も「大成功！」と手応えを実感しています。

やっぱり野外かきしーは最高

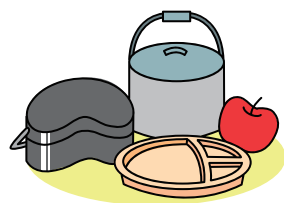
飯盒炊飯担当 松崎美紀

この号が刊行される頃には夏本番でしょうが、梅雨入りした六月初旬、運よく天候にも恵まれて、恒例の飯盒炊飯が行われました。女性の利用者さん中心の材料切り班は、慣れた手つきで米を研いだり、野菜を切ったり、女性職員より上手かも…。男性利用者さん中心のかまど班も手際良く火をおこし、材料が運ばれてくると、皆でカレー作りと米炊きのスタートです。一時間半もすると、学園の駐車場は空腹を誘う匂いに包まれました。それぞれのグループによって、いろんな出来具合のカレー、おこげがたまらんといった炊き具合の御飯に、今年は何と、見た目にも豪華な大きなエビフライがのって完成です。これにまた大きなゼリーがついて、「いただきます」。

お天道様の下で食べると、気分も変わり、普段少食の方もおかわりされる程。今年はおおみや苑と明田の家の利用者の方も来て頂きました。満腹になった後はフライングディスクのゲームで大盛り上がり。少々



▲飯盒炊飯の準備



の反則は見逃します。仕上げは、厨房職員にも腕をふるって頂き、これはまた見た目にも可愛い涼感ある、豆乳仕立ての甘いデザートに舌鼓を打ち、幕を閉じました。

今日は バス旅行

作業支援員 北野祥市

着のんびり入浴。風呂上がりはやっぱりコカコーラ。楽しい時間は、あっという間。餃子の王将福知山店では、まずギョーザ。ラーメン、焼き飯、鳥の唐揚げも人気がありました。午後八時学園着。歯みがきを行ない、就寝準備です。

こうして楽しかったバス旅行は終わりました。十四名という小グループ。移動もスムーズに行なえ、職員も余裕をもって利用者さんと過ごすことができました。皆さんのニーズにより応えられたと思います。帰りの車中の皆さんの表情はもちろん笑顔です。「また行きたいね」「うん、また行こうね」

今日の皆さんの夢は、食事、温泉、買い物。どんな夢でしょうね。



▲るり溪温泉にて

六月十五日(水)、今日は第二回バス旅行の日です。今回のコースは、イオン猪名川で買物と昼食、そしてるり溪温泉につかり、夕食は餃子の王将福知山店にてとナイスな企画です。参加利用者の九名、付添い職員五名の計十四名が学園バスに乗り出発です。岩雲さんと谷口さんは運転御苦勞様です。旅行の行先、出発時間、昼食、夕食は何にするのかと、もう何度聞かれたでしょうか。待ちに待ったバス旅行です。出発時間は八時ですが、七時過ぎにはもう服を着替え身出しなみを整え準備OKです。車中で朝食を摂り、西紀サービスイリアでコーヒータイム。皆さんお気に入りの缶コーヒーをゲット。イオン猪名川に着き、グループに分かれ買物。昼食は何故か十二名とんかつ屋さん集合。学園では出ない厚くいとんかつ。御飯、みそ汁、サラダはお代わり自由と、食べ過ぎ注意報も無視。すっかり摂りました。中でもIさんはパワフルにお代わりをされました。バスは走り、るり溪温泉に到

貸借対照表

平成23年3月31日現在

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	164,701,622	流動負債	12,065,633
現金預金	110,318,836	未払い金	11,331,426
未収金	54,324,522	預り金	734,207
立替金	45,000		
仮払金	13,264		
固定資産	599,052,466	固定負債	57,653,365
基本財産	402,579,215	設備資金借入金	12,500,000
建物	297,101,190	退職給与引当金 <small>〔注記〕 1 (1)</small>	45,153,365
建物附属設備	2,504,718	負債の部合計	69,718,998
土地	102,973,307		
その他の固定資産	196,473,251		
		純資産の部	
建物	29,710,739	基本金	270,646,055
建物附属設備	7,883,679	基本金	270,646,055
構築物	20,781,089	国庫補助金等特別積立金	178,424,813
機械及び装置	2,107,328	その他の積立金	92,000,000
車両運搬具	11,576,395	移行時特別積立金	92,000,000
器具及び備品	4,533,363	次期繰越活動収支差額	152,964,222
権利	348,671	次期繰越活動収支差額	152,964,222
ソフトウェア	190,365	(うち当期活動収支差額)	26,401,567
退職共済預け金	27,024,572		
移行時特別積立金	92,000,000		
長期前払費用	317,050	純資産の部合計	694,035,090
資産の部合計	763,754,088	負債及び純資産の部合計	763,754,088

〔脚注〕 1. 減価償却費の累計額 395,641,407円

〔注記〕 1. 重要な会計方針

(1) 退職給与引当金の計上基準

職員の退職に備えるため、財団法人京都府民間社会福祉施設職員共済会の退職金要支給額一覧表に基づき計上している。

資金収支計算書

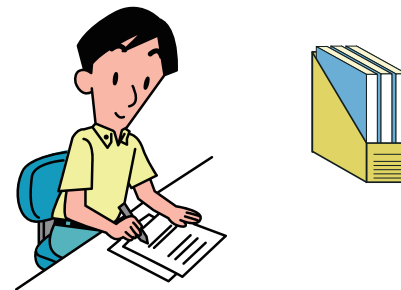
(自)平成22年4月1日 (至)平成23年3月31日

勘定科目		決算
経常活動による収支	収入	
	自立支援費等収入	267,480,985
	経常経費補助金収入	7,495,471
	寄附金収入	3,125,000
	雑収入	12,732,744
	借入金利息補助金収入	472,500
	受取利息配当金収入	253,778
	経常収入計(1)	291,560,478
	支出	
	人件費支出	191,574,721
事務費支出	21,259,335	
事業費支出	52,579,031	
借入金利息支出	472,500	
経理区分間繰入金支出	244,063	
雑損失	886,511	
経常支出計(2)	267,016,161	
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	24,544,317	
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等補助金収入	7,266,000
	固定資産売却収入	170,000
施設整備等収入計(4)	7,436,000	
支出		
固定資産取得支出	12,654,119	
施設整備等支出計(5)	12,654,119	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-5,218,119	
財務活動による収支	収入	
	借入金元金償還補助金収入	2,500,000
	積立預金取崩収入	58,890
	その他の収入	5,816,034
	財務収入計(7)	8,374,924
支出		
借入金元金償還金支出	2,500,000	
積立預金積立支出	42,230	
その他の支出	3,042,131	
財務支出計(8)	5,584,361	
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	2,790,563	
予備費(10)		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	22,116,761	
前期末支払資金残高(12)	130,519,228	
当期末支払資金残高(11)+(12)	152,635,989	

事業活動収支計算書

(自)平成22年4月1日 (至)平成23年3月31日

勘定科目		本年度決算
事業活動収支の部	収入	
	自立支援費等収入	267,480,985
	経常経費補助金収入	7,495,471
	寄附金収入	3,125,000
	雑収入	12,732,744
	借入金元金償還補助金収入	2,500,000
	引当金戻入	13,485,860
	国庫補助金等特別積立金取崩額	9,351,506
	事業活動収入計(1)	316,171,566
	支出	
人件費支出	191,574,721	
事務費支出	21,259,335	
事業費支出	52,579,031	
減価償却費	21,244,121	
引当金繰入	2,331,506	
事業活動収入計(2)	288,988,714	
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	27,182,852	
事業活動外収支の部	収入	
	借入金利息補助金収入	472,500
	受取利息配当金収入	253,778
	事業活動外収入計(4)	726,278
支出		
借入金利息支出	472,500	
経理区分間繰入金支出	244,063	
雑損失	989,176	
事業活動外支出計(5)	1,705,739	
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	-979,461	
経常収支差額(7)=(3)+(6)	26,203,391	
特別収支の部	収入	
	施設整備等補助金収入	7,266,000
	固定資産売却益	169,999
	特別収入計(8)	7,435,999
支出		
固定資産売却損・処分損	85,773	
国庫補助金等特別積立金積立額	7,152,050	
特別支出計(9)	7,237,823	
特別収支差額(10)=(8)-(9)	198,176	
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	26,401,567	
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額(12)	126,562,655
	当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	152,964,222
	基本金取崩額(14)	0
	基本金組入額(15)	0
	その他の積立金取崩額(16)	0
	その他の積立金積立額(17)	0
次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)	152,964,222	



お知らせ

《新入所者紹介》
 ◎平野まゆ美さんが平成23年1月19日よりかすみ草ホームに入所されました。

《新職員》

◎吉田雄三さんに平成23年1月4日より生活支援員をお世話になっていきます。
 ◎齊藤幸子さんに平成23年7月25日より生活支援員をお世話になっていきます。
 ◎森奈穂子さんに平成23年6月21日より厨房勤務をお世話になっていきます。

《退職者》

◎松本かなめさんが平成23年6月15日をもって退職されました。

事務だより



平成二十三年三月十六日
 平成二十三年六月三〇日(敬称略)

【寄附・寄贈】

(株)橋工業・保護者会(株)オートプラザ
 イシコ・大宮陸上教室・広野金男・水口組・陸整工業(株)・笹岡栄・松本政信・廣瀬梱包運輸(株)・長峯直美・安田豊

リサイクル作業

アルミ缶・銅線
 ヘルマーク・古紙回収
 ご協力ください



平成二十二年四月一日
 平成二十三年七月三十日(敬称略)

安達電気、安達陽一、明田地区の皆さん、芦田梢恵、遊区、安達酒店、掛津区観光部、池田勝信、五十河地区の皆さん、五十嵐商店、生野電気、井丈商店、今西久野、今西洋服店、井上五朗、稲岡靖子、芋野地区の皆さん、糸井泉、石河(有)、糸井初美、いととめ、EAT店、和泉登喜雄、和泉秀雄、井野建設、井上義昭、今井好子、今井久男、梅田歯科医院、梅田辰行、梅田高志、梅田徳五郎、上田ひとみ、えびす電気工事店、エナジールランド大宮、エルクラブ・オオミヤ、岡島三協製作所、オギノ電機、荻野志功、尾江充洋、大江純一、大江仙治、大木照一、岡田喜美子、大宮南保育所、大宮第一小学校、大宮第三小学校、奥田務、おしほり店田村、岡田福治、岡田嘉則、大河一夫、大西勲、大西一子、金子産業(株)、柿本春恵、勝岡修、河島食品店、川村義一、菊岡義和、木佐喜織物(株)、木崎弥生、喫茶・お茶のみ友だち、京キウ、口大野保育所、ザグランリゾート天の橋立(株)興和、小牧英次郎、小池食料品店、河野哲朗、小笹ふさ子、小牧俊介、後藤鉄工所、コマキデンキ、小牧義正、米トウタイル、小林秀

樹、小西デンキ、サニーアイランド、山翠園、笹岡昭義、笹岡儀和、佐藤勝、柴原商店、下川源太、四方秀夫、シルクロード、シラキ、白杉寅雄、獅子崎益二、尉ヶ畑地区の皆さん、諏訪部英美子、諏訪部秀雄、末次電気商会、隅倉住建、大道菓子店、館保弘、大同宏子、大同政守、大同敏剛、田上住与、田崎書店、谷口勲、田中博久、田中恵、谷口廣、谷次義則、玉木明司、田中ます美、壇野一義、玉岡商店、丹後生糸、でんき館やました、豊田定夫、藤右衛門、富田建築、中江美晴、中尾文雄、長尾道雄、中川貞治、中川利昭、永濱洋子、中村保徳、中村しんや、永井清志、新田良文、西田建設、橋本耕二朗、番場電気商会、萩原誠、畑中酒店、服部仁、日達利雄、平井建材、平林かよ子、平林善一、平井電気、広野清孝、フルーツ王国やさか、フリーク、堀鉄工所、堀敏雄、堀保彦、堀義行、ホリロク(株)、堀博昭、増鍊工業(株)、まるぜん書店野田川店、加悦店、マジカル、丸中観光バス、松崎幹二、水口進、水口組、宮尾倍行、三浦艶子、三重地区の皆さん、峰山鉄工所、椋平登美江、森重俊、森岡伸行、森本地区の皆さん、山中信子、山本敏彦、山本京子、ヤマモト電化サービス、矢野一城、矢野幸子、矢野辰雄、矢野博、安田康之、由利徳七、由利家電サービス、吉田電気工業、由村明人、横田悦子、吉岡設備(株)、吉岡電気商会、吉岡典子、吉沢地区の皆さん、吉岡商店、吉村食料品店、よぎ電工(株)、(株)ローソン大宮周知店、石川店、男山店、ワタマサ(株)

ボランティア大募集!

皆さんの元気を貸して下さい。利用者の皆さんの生活支援、学園の行事の運営スタッフとしてお手伝いしていただける人。御連絡下さい。※随時受け付けています。

【申込みはあゆみが丘学園】

TEL 0772-68-0770

Email: ayumihaoka@mx.nkansai.ne.jp

担当北野・石河まで



編集後記

梅雨のじめじめした季節が終わり、いよいよ夏本番です。暑さに負けず、しっかりと食べ、水分摂取にも気をつけて、熱中症にならないようにこの夏を乗り切りましょう。

現在十月の新法移行に向け取り組んでいます。職員一同、気を引き締め頑張っています。職員一同、気を引き締め頑張っています。職員一同、気を引き締め頑張っています。

今回のしらすぎ八十一号より用紙のサイズをB五サイズからA四サイズに大きくし、字も大きくしました。愛読者のみなさん、御期待にこたえられることができました。うか。